# タイピックだより 5月号

2016.4.20 発行　Vol.41

五月は、寒さも薄れて暖かくなり、澄み渡るように晴れる日も増え、一年でも一番すごしやすい季節ですが、今年は、五月を前にとても大きな災害がありました。四月に発生した熊本地震では、亡くなられた方や被災された方も多く、現地では、今なお余震が続き、不安な日々を送られています。

亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、被災された多くの方々が、一刻も早く安心して暮らせますよう、私たちも支援の輪を繋いでいきたいと思っております。

日本は、地震、台風、洪水、豪雪と災害が多い国ではありますが、自然からの恩恵も多い国です。緑を育てる春の太陽のように、私たちも被災地へと温かな心を寄せることは、災害への備えの一歩となり、自身に困難が降りかかった時に立ち上がる力にもなるのではないでしょうか。困難に立ち向かうことで、心の強さと豊かさが培われていくのかもしれません。

五月四日の「みどりの日」は、自然に親しむとともにその恩恵に感謝し、豊かな心をはぐくむことを趣旨とした祝日です。自然への畏敬と感謝とともに、熊本を始め、まだ多くの災害の爪跡の残る日本各地の被災地を風化させないようにしたいものですね。

## お水の宅配始めました

環境にやさしく、おいしく安全な水を皆さまのご家庭やオフィスにお届けします。

ウォーターネットのウォーターサーバーは、いつでもお水もお湯もご利用いただけます。

ご用命は、担当営業にお問合せ下さい。

## 無料お試し実施中！

必要とされる人へ、必要とされる会社へ
株式会社 タイピック
〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号
Tel. (0856)23-2800㈹ Fax. (0856)22-5592番
http://www.typic.jp

# 社長のつぶやき

四月初旬に東日本大震災の一年後から始めた被災地を友人三名と訪問して来ました(今回で五度目)。

今回は福島第一原発の近くに住まわれていた川崎葉子さんにお願いして、住まわれていた福島県いわき市双葉町を案内していただいた後、松原、石巻、女川を経由して、南三陸町のホテル観洋で宿泊し、翌日は南三陸町から気仙沼を回ってきました。

川崎葉子さんとは、致知出版社の主催する徳望塾で一昨年お会いし、本を出版されていることを知り、即刻完読した(原発三キロメートル圏からの脱出発行致知出版社)。今年も徳望塾でお会いし、多用な方(年間百回程度講演)なのですが、お願いして同行していただきました。

川崎さんは震災時に自宅から五十・六十キロ離れたお寺におられ、震災直後に自宅に向かう途中、国道六号の海岸沿いで渋滞している時に車が浮き上がるのを感じ、やばいと隙間を狙ってUターンして危険を逃れた。Uターンした直後にそこでは何人も人が津波にのみこまれた。そんな説明を受けながら川崎さんの生誕地である、綺麗な桜並木のある富岡町に到着。

満開の桜並木があっても避難地区で人っ子ひとりもいない桜並木を通るさびしさ。家の前には何の意味もないバリゲートがつけられ、予算消化?という思いも。桜並木の先にはガードマンが立ち入場許可証がないと入ることができない地区となっていました。

国道六号を進む途中には多くの警察車両とすれ違いながら双葉町の川崎さん宅に到着。「自宅の中を見ますか?」と聞かれ「せっかくきたのだから見ます」とバリケードの横を乗り越え(鍵が錆びて回らない)玄関へ。玄関にはピンクの洗濯バサミが一つ掛かっていましが、この洗濯バサミに娘さんが『ママへ、私達三人は無事、双中に避難しています。』と書いた紙がかけてあったと聞きました。「娘さんはお母さんのことを心配しながら書かれたのだろうな」と目がうるみました。玄関から中に入ると泥棒が入って、衣類や本を撒き散らし、そのうえにネズミの糞が散乱しており、冷蔵庫の扉は開き、卵がなかに見え周辺は異臭を放っており想像を絶する状況でした。

川崎さんの説明を聞きながら顔を見ると涙目になっており、気の毒としか言いようのない状況に驚愕でした。その後、川崎さんが運営されていた教室やご主人の仕事場である歯科医院を見ましたが、この場所もネズミの糞が散乱していました。ここにも泥棒が入り治療に使う『金』を取って逃げたと話を聞きましたが、被災地では当たりまえであったようです。

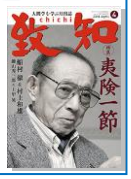
川崎さんの自宅は国が買い上げ国有地となるようですが、国道の反対側は買い上げにはならないそうで、こんな場所で住めるのだろうか。国道一本で運命が分かれるむごさを感じました。(次回に続く)

## 社内木鶏会

# 致知の感想

### いま、この瞬間を喜びに生きる

山崎　鈴枝




健常者だった荒美有紀さんが、音も光も失った後、「いま、この瞬間を喜びに生きる」と言えるようになるまでの道のりは、想像を絶するものだったと胸が痛くなるお話しでした。

健常者であっても日々をダラダラと過ごし、一生懸命生きていると言えない人も残念ながら世の中には沢山いる中で、「障碍はその人の価値を下げるものではない」と言われる荒さんの生き方は素晴らしいと感銘しました。

今回の致知のタイトルにもある「夷険一節」の言葉のように、平和で順調な時も慢心せず、逆境にある時も、常に自分の信念に忠実にものごとを進めていけるように、無駄の無い人生を送りたいとあらためて思いました。

日々の仕事の中でも、プライベートの時間の中でも、一瞬一瞬に喜びを感じ、そして、感謝ができる人間であるために、気持ちの余裕と常に前向きな姿勢と自分磨きを怠らず、スキルアップを続けることが大切だと思います。日々精進の姿勢で「喜びに生きている」と言える毎日にしたいと思います。

# 新入社員紹介

**OA事業部　営業**
**浅野　成耶**

四月に入社いたしました浅野成耶（せいや）と申します。江津市出身、3月14日生まれの20歳です。

趣味は、サッカーと神楽です。小さいころから神楽が好きで、今では社中に所属し、神楽をしています。サッカーは高校時代にしていたので気分転換によくします。

社会人一年目ということで、右も左もわかりませんがひとつひとつ仕事を覚え、一日でも早く即戦力になれるよう頑張りたいと思います。

社会人になっても勉強というのは必要なので日々勉強を怠らず、目の前のことを一生懸命頑張りたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

**印刷事業部**
**竹中　智広**

四月に入社いたしました竹中智広と申します。津和野町出身、6月13日生まれの20歳です。

小学二年生から高校三年生まで、剣道を学んできました。一つ一つの技の練習や先生方との稽古を通じて、物事に集中し、落ち着いて取り組むことの大切さを教えて頂きました。

その経験を活かし、社会人として責任感のある行動を常に心掛け、一つ一つの業務を一生懸命に取り組み、業務のやり方や機械の扱い方を覚えていき、お客様のお役にたてるように努力したいと思います。

一生懸命に頑張りますので、どうぞよろしくお願いします。

**ゆっくりやさしいパソコン教室**
**松田美穂子**

津和野教室でインストラクターをさせてもらっている松田です。

昨年の秋から生徒としてタイピックに来ていたのですが、ご縁をいただき、年明けから猛勉強?!で資格を取得し、4月から週2回ほど教室のサポートをしています。

人に喜んでいただけることが自分を元気にし、何よりの喜びになっています。

いつも笑顔を忘れず、元気パワーを皆さんにお届けしていきたいと思います。まだまだ勉強しなくてはいけないことも多いですが、生徒の皆さんと一緒に成長しながら、頑張っていこうと思います。どうぞよろしくお願いします。

## 誕生日の決意

**印刷事業部　営業**
**藤根　大介**

私はこの5月で31歳になります。

31歳を迎えるにあたって、今後更なる成長を目指すと共に、責任感を持ち、色々な人のお役に立てる存在になっていきたいと思います。

これから40代に向かっていきますが、一日一日を大切に過ごし、立派な大人になりたいと思います。

タイピックでは、新年の課題として、今年一年のテーマを漢字にして表すのですが、私の選んだ今年の漢字は【縁】という漢字です。

タイピックに入社して7月で3年になります。

仕事を通じてお会いする事の出来たお客様はもちろんの事、自分の周りにいる全ての人とのご縁を大切にしていけたらと思います。

まだまだ半人前の私ですが、今後更なる成長を目指して参ります。よろしくお願い致します。

**OA事業部　営業**
**吉松　一彦**

5月20日に30歳という節目の歳を迎えました。

願望も含め、まだまだ20代の気分ですが、これからは年齢相応の落ち着いた人間になれるように毎日をしっかりと歩んでいきたいと思います。気分の上ではまだまだ20代でも、確実に一つ歳を重ねたことを自覚し、これまで周りの皆さんから教わったことや経験してきたことを大切な自分の財産として日々の仕事に取り組んでいきたいと思っています。今までは自分が一番の後輩でしたが、この春からは新入社員も入り、これからは立場も変わっていきます。上司からは信頼され、後輩からは慕われ頼られるような人間に成長していかなくてはと強く思います。入社し一年三ヶ月経ちましたが、未経験で初めて経験する仕事で右も左もわからない私を指導してくれた皆さんに成長した姿を見せられるようになりたいです。この誕生日を機に、失敗を恐れず、積極的に行動して自分を変えていきたいと思います。

# ゆっくりやさしいパソコン教室

第8回パソコン教室の文化祭を4月10日（日）に開催いたしました。

多彩な趣味をお持ちの生徒さんの素晴らしい作品を今年も展示していただきました。また、毎年恒例の、チャリティーバザーも大盛況でした。

そして、今年は、生徒さんによる手品や南京玉すだれ、バナナのたたき売りなど、歌あり、踊りあり、笑いありの余芸大会も行い、とても楽しい一日を皆さんと過ごさせていただきました。

私たちスタッフも、小道具をすべて手作りして高齢者を狙う年金詐欺の寸劇を行い、その後、益田警察署の方に悪質な年金詐欺の対応などのお話しをして頂きました。

私たちのパソコン教室は、ただパソコンの技能を身に付けるだけでなく、パソコン教室を通じて人生を豊かにしていただくことを心がけています。

これからのイベントとして、夏のバーベキューと秋のバス遠足を予定しています。

ぜひ一度教室に足を運んでみてください。皆様のご入会をお待ちしております。